



「聖地の酒」をPRする井之口二さん(左)と下梶谷さん(右)が、飛騨市古川町の巫女ラベルの酒を手にしている。

聖地の酒第2弾 巫女ラベル発売



渡辺酒造店(飛騨市古川町)は、アニメ映画「君の名は。」にちなんで純米吟醸酒「蓬萊 聖地の酒 巫女ラベル」を発売した。昨年十一月に発売した「聖地の酒」の第二弾。商品を考案した女性新入社員をモデルにしたイラストをラベルにデザインした。

「蓬萊 聖地の酒」は井之口晴稀さん(左)と下梶谷歩夢さん(右)が、映画をイメージしてとっくりのような容

器「瓶子」に酒を入れることを考案。年末までに六千本が売れた。映画で巫女として踊る姉妹が登場するため、二人は地元の祭りなどがある際に巫女にふんして店頭に立ち、好評だった。

巫女ラベルは七百二十リットル入りで千六百二十円、三百リットル入りは八百十円。下梶谷さんは「アニメ好きの方に手に取ってもらいたい」と話す。

「ぜひ私たちに会いに来てほしい」と話す。瓶子に何度も酒を入れて飲みたいとの声を受けて「聖地の酒」の詰め替え用も販売している。

(浜崎陽介)

聖地巡礼に3万6000人

飛騨市は七日、二〇一六年の観光入り込み客数が、前年比3・6%増の百万五千八百八十一人で、三年ぶりに百万人を超したと発表した。飛騨の風景が登場するアニメ映画「君の名は。」のヒットにより、ファンが訪れる「聖地巡礼」が数値を押し上げた。

飛騨市に昨年 観光客再び100万人

人気を維持し、前年並みの約四万二千人が利用。海外の利用者は同66%、千百人伸びた。

スキー場は雪不足でオープンが一月二十日すぎにずれ、飛騨かわいの利用者が57%減の五千八百七十三人、流葉が55%減の二万四千四十人。市内の宿泊客数は同0・2%増の十万七千六十七人、そのうち外国人は同27・2%増の六千九百八十四人だった。

(浜崎陽介)